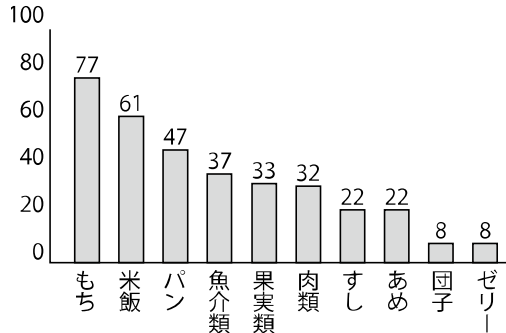


窒息事故を防ぐ

数年前、メディアではこんにやくゼリーによる窒息事故が騒がれていました。近年、そのような報道を見ることは減りましたが、決して、事故がなくなったというわけではありません。厚生労働省の「人口動態調査」によると、毎年約20人の乳幼児が食品による窒息事故で亡くなっています。平成24年7月には2歳の女兒が団子をのどに詰まらせ、その後、死亡するという事故もありました。窒息事故予防を改めて心がけましょう。

1. 窒息の原因食品

よく、窒息事故の原因といわれるもちやあめ玉、団子、カップゼリーだけに注意すればよいというわけではありません。全ての食品に対して注意が必要です。



*米飯におにぎり含む

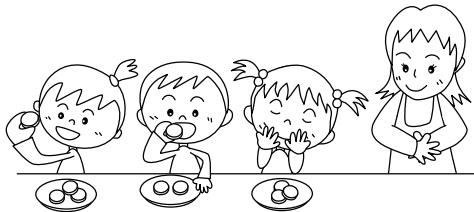
*ゼリーはカップ入りゼリー



平成19年厚生労働省特別研究「食品による窒息の現状把握と原因分析」より

2. 窒息を防ぐポイント

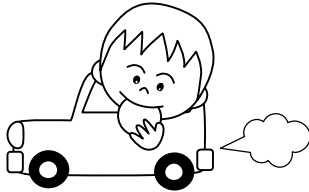
一人で食事をさせないようにしましょう



誰かがそばにいて、注意してみてください

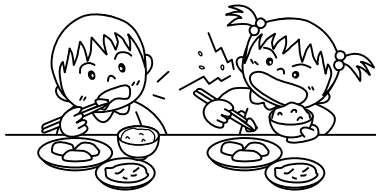
また、年長の子どもが乳幼児に危険な食べ物を与えないように注意しましょう

乗り物の中では食べさせないようにしましょう



乗り物は急停車をしたり、ゆれたりして危険です

食事をするときのルールを守りましょう



食べ物を口に入れたままの会話

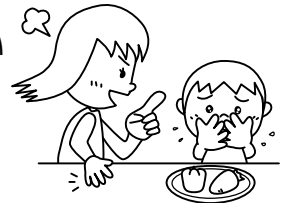
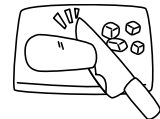
食事中びっくりさせないようにしましょう



穏やかな環境づくりを心がけましょう

よく噛んで食べさせましょう

- ・噛みやすい大きさに切る
- ・よく噛んで食べることを促す
- ・食べることを急がせない
- ・食べることを無理強いしない



テレビを見ながら



寝転びながら



遊びながら



歩きながら